

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年8月10日
【四半期会計期間】	第57期第3四半期（自平成30年4月1日至平成30年6月30日）
【会社名】	長谷川香料株式会社
【英訳名】	T.HASEGAWA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 海野 隆雄
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目4番14号
【電話番号】	03(3241)1151(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役兼常務執行役員 中村 稔
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目4番14号
【電話番号】	03(3241)1151(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員総務部長 菅原 俊也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第3四半期 連結累計期間	第57期 第3四半期 連結累計期間	第56期
会計期間	自平成28年 10月1日 至平成29年 6月30日	自平成29年 10月1日 至平成30年 6月30日	自平成28年 10月1日 至平成29年 9月30日
売上高 (百万円)	35,376	36,862	48,001
経常利益 (百万円)	4,737	4,181	6,101
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	3,323	2,990	4,299
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	7,430	6,751	8,937
純資産額 (百万円)	86,008	92,713	87,528
総資産額 (百万円)	107,799	116,311	109,836
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	78.33	70.48	101.35
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	78.23	70.34	101.19
自己資本比率 (%)	79.7	79.6	79.6

回次	第56期 第3四半期 連結会計期間	第57期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成29年 4月1日 至平成29年 6月30日	自平成30年 4月1日 至平成30年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	22.90	32.36

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、第2四半期連結会計期間より、当社グループにおける重要性が増したため、PT. HASEGAWA FLAVOURS AND FRAGRANCES INDONESIAを新たに連結の範囲に含めております。当該子会社の報告セグメントは「アジア」であります。

また、第1四半期連結会計期間において、台湾の台湾長谷川香料股份有限公司(非連結子会社で持分法非適用会社)、第2四半期連結会計期間において、マレーシアのT HASEGAWA FLAVOURS AND FRAGRANCES (MALAYSIA) SDN. BHD.(非連結子会社で持分法非適用会社)が当社子会社となりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

第1四半期連結累計期間より、当社グループの主要な経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。これに伴いセグメントの業績におけるセグメント利益の前年同期比較においては、遡及適用した前年同期のセグメント利益と比較を行っております。詳細は「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」をご覧ください。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあったものの、米国の通商・金融政策の影響、中国や新興国経済の動向、地政学的リスクの高まり等が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

また、2017年6月に新たに連結子会社となった米国のFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの売上が当社グループの連結経営成績に寄与いたしました（前年同期は実績なし）。

この結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は36,862百万円（前年同期比4.2%増）と増収となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比0.7%の増収、海外連結子会社の売上高は、長谷川香料（上海）有限公司が前年同期比2.9%の増収（現地通貨ベースでは同2.2%の減収）、T. HASEGAWA U.S.A., INC.が前年同期比11.8%の増収（現地通貨ベースでは同13.1%の増収）、マレーシアのPeresscol Sdn. Bhd.が前年同期比4.3%の減収（現地通貨ベースでは同11.2%の減収）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、長谷川香料（上海）有限公司の売上が減少したものの、T. HASEGAWA U.S.A., INC.の売上増加、及びFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの売上寄与を主因に前年同期比2.8%増加し、31,204百万円となりました。

フレグランス部門は、長谷川香料（上海）有限公司の売上が増加したことを主因に前年同期比13.0%増加し、5,658百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、売上増により売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費の増加を主因に前年同期に比べ487百万円（11.1%）減少し、3,888百万円となりました。経常利益は営業利益の減少並びに為替差損の計上（前年同期は為替差益を計上）を主因に前年同期に比べ555百万円（11.7%）減少し、4,181百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ332百万円（10.0%）減少し、2,990百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しております。

日本

売上高は27,433百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は3,161百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

アジア

売上高は6,357百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は570百万円（前年同期比40.2%減）となりました。

米国

売上高は4,117百万円（前年同期比29.3%増）、セグメント利益は179百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3,278百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	160,000,000
計	160,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成30年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成30年8月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	42,708,154	42,708,154	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	42,708,154	42,708,154	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
平成30年4月1日～平成30年6月30日		42,708,154		5,364		6,554

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成30年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 269,800	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 42,408,100	424,081	同上
単元未満株式	普通株式 30,254	-	-
発行済株式総数	42,708,154	-	-
総株主の議決権	-	424,081	-

(注)「完全議決権株式(自己株式等)」の欄はすべて当社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成30年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
長谷川香料株式会社	東京都中央区 日本橋本町4-4-14	269,800	-	269,800	0.63
計	-	269,800	-	269,800	0.63

(注)当第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は269,900株となっております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年10月1日から平成30年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,802	10,808
受取手形及び売掛金	1 16,893	1 17,212
有価証券	5,999	5,999
商品及び製品	6,530	7,370
仕掛品	160	132
原材料及び貯蔵品	6,004	7,270
その他	2,313	1,744
貸倒引当金	8	7
流動資産合計	48,694	50,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,953	17,298
その他(純額)	13,291	13,321
有形固定資産合計	31,245	30,620
無形固定資産		
のれん	3,885	3,516
その他	3,923	3,742
無形固定資産合計	7,809	7,259
投資その他の資産		
投資有価証券	21,202	26,982
退職給付に係る資産	18	21
その他	922	953
貸倒引当金	57	56
投資その他の資産合計	22,086	27,900
固定資産合計	61,141	65,780
資産合計	109,836	116,311
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,540	5,900
1年内返済予定の長期借入金	4	0
未払法人税等	839	465
賞与引当金	1,264	501
役員賞与引当金	67	-
その他	2,818	3,129
流動負債合計	10,534	9,997
固定負債		
長期借入金	4	1
繰延税金負債	4,012	5,852
退職給付に係る負債	6,631	6,704
資産除去債務	70	68
長期未払金	997	919
その他	56	54
固定負債合計	11,772	13,600
負債合計	22,307	23,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,292	7,295
利益剰余金	62,438	63,807
自己株式	323	309
株主資本合計	74,772	76,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,435	16,507
為替換算調整勘定	468	131
退職給付に係る調整累計額	237	212
その他の包括利益累計額合計	12,665	16,426
新株予約権	90	128
純資産合計	87,528	92,713
負債純資産合計	109,836	116,311

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	35,376	36,862
売上原価	21,507	22,637
売上総利益	13,869	14,225
販売費及び一般管理費	9,493	10,336
営業利益	4,376	3,888
営業外収益		
受取利息	24	46
受取配当金	157	184
為替差益	159	-
その他	62	92
営業外収益合計	403	324
営業外費用		
支払利息	3	0
設備賃貸費用	34	-
為替差損	-	26
その他	4	4
営業外費用合計	42	31
経常利益	4,737	4,181
特別利益		
投資有価証券売却益	55	63
固定資産売却益	75	-
特別利益合計	130	63
特別損失		
固定資産廃棄損	76	40
特別損失合計	76	40
税金等調整前四半期純利益	4,791	4,204
法人税等	1,468	1,214
四半期純利益	3,323	2,990
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,323	2,990

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	3,323	2,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,720	4,071
為替換算調整勘定	1,359	336
退職給付に係る調整額	26	25
その他の包括利益合計	4,106	3,760
四半期包括利益	7,430	6,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,430	6,751
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間において、非連結子会社であったPT. HASEGAWA FLAVOURS AND FRAGRANCES INDONESIAの重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が当第3四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
受取手形及び売掛金	111百万円	130百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
減価償却費	2,064百万円	2,205百万円
のれんの償却額	101	322

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年11月11日 開催の取締役会	普通株式	721	17	平成28年9月30日	平成28年12月6日	利益剰余金
平成29年5月12日 開催の取締役会	普通株式	678	16	平成29年3月31日	平成29年6月1日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年11月10日 開催の取締役会	普通株式	806	19	平成29年9月30日	平成29年12月6日	利益剰余金
平成30年5月11日 開催の取締役会	普通株式	721	17	平成30年3月31日	平成30年6月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,852	5,742	2,781	35,376	-	35,376
セグメント間の内部売上高 又は振替高	381	259	402	1,043	1,043	-
計	27,234	6,001	3,184	36,420	1,043	35,376
セグメント利益	3,109	954	243	4,306	69	4,376

(注)1. セグメント利益の調整額69百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額48百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額20百万円、その他0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「米国」セグメントにおいてFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は2,916百万円であります。なお、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,786	6,035	4,041	36,862	-	36,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	646	322	75	1,045	1,045	-
計	27,433	6,357	4,117	37,908	1,045	36,862
セグメント利益	3,161	570	179	3,911	22	3,888

(注)1. セグメント利益の調整額22百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額40百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額63百万円、その他0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、当社グループの主要な経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益については、上記の変更を踏まえて作成した情報を記載しております。

なお、第2四半期連結会計期間において、非連結子会社であったPT. HASEGAWA FLAVOURS AND FRAGRANCES INDONESIAを連結の範囲に加えたため、報告セグメント「アジア」に含めております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

当社の連結子会社であるT.HASEGAWA U.S.A., INC.が、平成29年6月30日に行ったFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCとの企業結合について、前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってまいりましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、主に無形固定資産である顧客関連資産に3,052百万円が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額は5,977百万円から3,061百万円減少し、2,916百万円となっております。なお、同社のみなし取得日を前第3四半期連結会計期間末としているため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	78円33銭	70円48銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	3,323	2,990
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	3,323	2,990
普通株式の期中平均株式数(千株)	42,426	42,434
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	78円23銭	70円34銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	58	82
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成30年5月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....721百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....17円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成30年6月1日

(注) 平成30年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年8月9日

長谷川香料株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 茂木 浩之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 京嶋 清兵衛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている長谷川香料株式会社の平成29年10月1日から平成30年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成29年10月1日から平成30年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、長谷川香料株式会社及び連結子会社の平成30年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。